

後期高齢者医療制度

中止・廃止を

「年金」からむしりとられる...

(80歳女性)



日本共産党

新たな負担に悲鳴

年間平均
9万4千円

75歳以上の高齢者を対象にした後期高齢者医療制度が4月から実施され、「姥捨て山よりもひどい」と怒りや不満の声が大きく広がっています。

日本共産党飯能市議団は、後期高齢者医療制度の「中止・廃止」に全力をあげます。

高い年金から強制天引き

保険料はすべてのお年寄りから徴収(09年完全実施)されます。埼玉県は全国で6番目に高く、平均月額9万3990円(月額7830円)で、

医療が制限される

多くの人が今までより負担が増えます。「消えた年金」問題にまともな解決をしないまま、少ない年金からも保険料を天引きするなど許せません。

高齢者の診療報酬が「包括払い」となり、保険がきく医療に上限が決められました。このため、治療や検査などが制限され、必要な医療が受けられなくなる危険があります。

払えなければ保険証取りあげも

現在でも、介護保険料が払えない人が600人以上います。後期高齢者医療保険料を一年以上滞納すると保険証を取りあげるといいます。保険証がなければ全額自

*多くの県医師会からも反対の声が上がっています。また、568の地方議会(4月現在)から中止、見直しを求め意見書が上がっています。

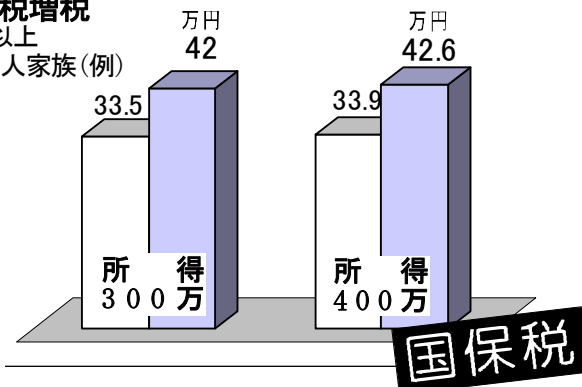


滞納すれば差し押さえも

現在、介護保険料の滞納者は651名(08年3月現在)になります。市は「差し押さえも検討している」と3月議会で答弁しています。増税と負担増が特に高齢者を直撃しています。いまこそ、市民のくらしを応援することが地方自治体の役割ではないでしょうか。



国保税増税
40歳以上
夫婦4人家族(例)



4人家族 5千円もの増税に

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者だけでなく、後期高齢者医療支援金を拠出する国保税や勤労者の健康保険料にも大きく影響してきます。飯能市の国保税は、今年度一人あたり、1271円増税になります。また、最高限度額は61万円から68万円に7万円も増えます。

健保も 3千億円の負担増

一般勤労者が加入している健康保険料の負担分は3000億円にもなり、保険料の値上げにつながることは必至です。年金掛け金の引き上げ、食料品、原油等の値上げとともに家計を大きく圧迫します。



だれが
こんな

ひどいことを

2年前に「医療構造改革」と称して、自民・公明両党が強行したのです。飯能市議会にもこの制度導入に関する条例が提案されましたが、日本共産党以外のすべての議員が賛成しています。また、3月議会で「制度の中止・廃止を求める」請願が出されましたが、保守・公明議員の反対で国への意見書は出せませんでした。

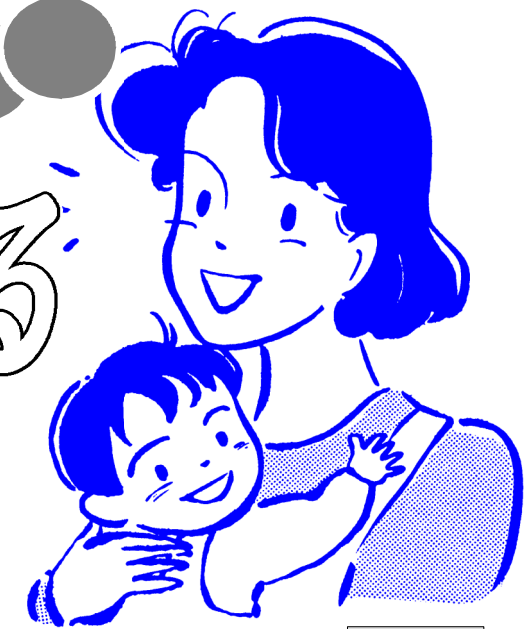
さらに消費税増税も

さらに重大なのは、医療も介護も年金も大改悪しておきながら、その財源にといって消費税増税まで言い出していることです。きっぱり反対しているのは日本共産党だけです。

「中止・廃止」の意見書に保守・公明が反対しました



みなさんといっしょに 雇用・子育て・暮らしを守る



妊婦
健診

5回まで無料に

今年から妊婦の無料検診を年2回から5回に増やすことができ、お母さん方の強い要望であり、党議員団も議会の一般質問等で要求してきたものです。国は、「妊婦検診は14回無料が望ましい」としており、すでに東京23区中20区が14回無料にするなど無料回数を増やす自治体が増えています。安心して子どもを生むことのできる環境づくりのために、引き続き、無料健診を増やすよう求めていきます。

日本共産党

臨時保育士の給与が改善

日本共産党市議団は、市立保育所の臨時保育士が保育士総数の5割以上を占め、臨時保育士だけで、3歳未満の乳児の保育にあたるという異常な事態になっていることを明らかにしました。臨時保育士といっても実際には正規職員とほとんど同じ勤務です。



双柳学童の建て替えへ

飯能市には11カ所の学童保育所があります。日本共産党市議団は、父母や指導員と力をあわせ、施設の建て替えや増設、指導員の人員費補助や障害児加算等の充実を求めてきました。特に、老朽化した「双柳

その
いっぽうで



「コスト論」もごみ
65%も値上げ
今年度、飯能市立名栗幼稚園の授業料が人件費などコストがかかることを理由に65%も引き上げられ、入間・狭山市より1000円も高くなりました。

市立病院の縮小・廃止ゆるさず

市は、市立病院の民間委託化や病床廃止を検討しようとしています。公立病院の入院ベッドは益々重要になっています。日本共産党は、「市立病院を守る会」や市民と力を合わせて、ベッドの存続と充実のためにがんばります。

子どもたちに豊かな給食を

市は、小規模校の給食室の統合とその後民間委託化をすすめるようとしています。日本共産党は、給食室の統廃合や民間委託を止めさせるためにがんばります。

市長の応接室には500万円も



なぜ、この時期に応接室に500万円？

市民には負担増を押し付ける一方で、市長室に続いて、市長応接室が西川材使用で、500万円もかけて改修されました。

市民の暮らしが大変な今こそ、自治体が暮らしや福祉、雇用、子育てなどを応援することが必要です。日本共産党飯能市議団は、市議会の一般質問や予算要望、市長交渉など市民のみなさんと力を合わせて、要求実現に向けて奮闘してきました。引き続き、全力でがんばります。

生活相談

いつでもお気軽にご相談ください

- 市議会議員 金子としえ 飯能1237-2 972-6401
- 市議会議員 山田とし子 八幡町6-15 973-4710
- 市議会議員 新井たくみ 井上732 978-0175
- 市議会議員 滝沢おさむ 岩沢1146-1 972-3875

● 3月市議会報告をお届けします

日本共産党の議会報告

2008年5月
TEL 973-2111 飯能市役所(内線456)
ホームページ http://www.jcp-hanno.com